

# 鉢植え栽培について

福住 康文

毎年、神奈川県立大船フラワーセンターで展示会が行われています。

展示は、4号ポリポットに定植したものを中心に使用しています。花後の株分け時、2.5号(7.5cm)と3号(9cm)ポリポットに仮植えし、秋になつて4号(12cm)ポリポットに定植しています。よつて、これを前提として記述しますが、大鉢、プランター等に定植する場合でも、栽培方法は大きな違いと思ひます。なお、栽培に關しての時期等については、東京・神奈川を基準にしていますので、地域差を考慮してください。

## 1 株分け

- (1) 株分けは、花後なるべく早く行う方が活着が良いです。
- (2) 苗は、花茎の両側にある側芽(葉が4〜5枚の中央の大きさの苗が最適)を使用します。
- (3) 苗は、20cm程度に葉を切り詰め、痛んだ古根を切り取つて、できれば水洗いして使用します。この時、根茎をつけたまま分ける方が、植付

時に苗が安定して生育もいくらか良いようです。

- (4) 2.5号(7.5cm)と3号(9cm)ポリポットに植え付けますが、植える深さは、倒れない程度の浅植えとし、根元を固く押さえて、苗がぐらつかないようにすることが大切です。○割出し芽について

あまり大きい苗は、8月中旬〜9月上旬にかけて脇芽が生じてくることがあり、この脇芽を割出し芽といひます。この現象は親苗の發育が良すぎるためで、普通なら来春に生ずるはずの葉芽が早くも発生したもので、品種によっては、この葉芽に勢力を取られて親芽が花芽にならず、花が咲かない場合があります。

## 2 定植

- (1) 8月下旬〜9月中旬に4号(12cm)ポリポットに定植します。定植は生育に応じて順次行ひますが、あまり遅くまで放置して小鉢の中で根がまわりすぎると、苗が老化して以後の生育が悪くなります。
- (2) 展示に使用するには、苗を据え

る位置が大切で、苗の表側が鉢(4号ポット)の縁から1〜3ぐらいの位置にくるように植えると、来春は鉢の中心から花梗が立つて来ます。

## 3 用土

花菖蒲は、特に用土を選びませんが、昔から荒木田土(田土)や赤土のような粘質性の重い土が良いとして使用されてきました。しかし最近ではこれらの土が入り難くなつたうえ、ポリポット等を使用した場合、乾燥するとひび割れたり、固まつて水を吸わなくなつたり、扱い難いので、赤玉土や山砂等を使用する事が多くなつています。

### ○重い土がよい理由

植付時に苗が動き難く活着が良く、根張りも良くがっちりした株に仕上がります。軽い土を使用すると、ひよろつとした背の高い株になる傾向があります。

### ○用土の配合例

赤玉土(小粒)・・・7  
ピートモス・・・1 堆肥・・・1  
川砂・・・1(土が締まる)

## 4 水やり

4月中旬〜6月開花中及び夏場は、水切れをしないようにたっぷりと与

えます。その他の時期は、一般の草花と同様に、乾いたら水を与えます。

### ○腰水栽培について

本来は鉢の上から水をやり、鉢内の空気と水分を流通させるのが良いです。しかし、生活環境等で腰水栽培を行う場合は、次の事項に注意します。

- (1) 水深は2cm以内とします。
- (2) 常に水に浸かっている状態にはせず、プール内や受皿等に水が無くなつたら水を入れるようにします。
- (3) 夏は、水温を上昇させないため、水を流通させる等の工夫が必要です。ちなみに花菖蒲は土の温度が30度ぐらいで発根しなくなるようです。

## 5 肥料

- (1) 花後の株分け苗の植付時は無肥料とします。
- (2) 肥料を与える時期  
○8月中旬ころ、鉢の表面に根が出てきた苗に、やや薄めの液肥を1回与えます(この液肥は与えなくてもよい)。  
○9月中旬〜下旬に固形肥料を与えます(1回目)。  
○10月中旬〜下旬に固形肥料を与えます(2回目)。

○11月中旬～下旬に固形肥料を与えます(3回目)。

○春2月下旬～3月上旬に固形肥料を与えます(留肥)。

### (3) 肥料の種類について

固形肥料は入手しやすい市販の有機肥料(N・P・K↓10・10・10以下のも)を説明書等に記載された所定の分量を与えれば良いです。なお、化成肥料でも差し支えないですが、葉が硬くなり折れやすくなる傾向があります。

### ☆花止まりについて

花菖蒲の育成サイクルは、春に花茎の脇から出た子苗(葉芽)が秋までに数枚の葉を出して大きくなり、翌年には花梗となつて、両側に新しい子苗を残して自分自身は枯れるという一生を送るわけです。この間に出来る葉数は、合計20数枚と言われています。ところが子苗を植え付けた後、秋までに成長が進み過ぎて、ある程度以上の葉を生じてしまい、翌年に花を咲かせるべき葉数が足りなくなり、単に大きな苗となっている状態を花止まりといえます。この現象は品種の性質に大いに関係しており、肥後系の古い品種及び江戸系の古花によく見られます。

## 訃報

### 高島政幸さんを偲ぶ

現存会員のなかで最も会員歴の長い高島さんは平成一九年七月十日享年七十四才で逝去されました。

日本花菖蒲協会は戦争による中断後昭和二十七年に再開されましたが、それから数年たつて高島さんは入会されました。奥様のお話では結婚されたとき既に花菖蒲協会会員で花菖蒲を栽培されていたそうです。よつて同氏は二十四～五才くらいから花菖蒲を作つてこられたわけで、まさに半世紀の歴史をもつ根っからのベテランであります。

東京で生まれ、現住の北区浮間で豚肉などの卸しを商う有限会社高島畜産を設立されました。忙しい仕事の合間に園芸に親しみ、花菖蒲は江戸系を中心に自宅の庭だけでなく近くの河川の土手にも植えて通行する人たちや近隣の方たちを楽しませました。とくに栽培の難しい銘花「宇宙」を再三にわたり手がけ、花菖蒲という花の真髄に迫ろうとしました。またエビネランの貴重な品種の収集

にも熱心でした。

高島さんは協会の総会や研究会にも必ず参加され、終了後の親睦会で酒盃を傾けながら楽しい花談義を聞かせてくれました。

残された花菖蒲株は平成二十年の一月十三日に小林昇理事らがうかがい引き取つて、同月二十六日の協会の総会で会員たちに寄贈し、皆さんに栽培してもらっています。本人の遺志が達成されたものと考えます。長い間ご苦労さまでした。天国でも花菖蒲にかこまれて平安であらんことを祈ります。(椎野昌宏記)

### 斎藤憲嘉さん逝く

肝臓疾患のため闘病生活を送つていた斎藤さんは残念ながら平成二十年五月十二日、享年七十六才で逝去されました。同氏は体格からも髣髴とされるように、豪放洒落な方で、花菖蒲などの草花に深い愛情を注がれておりました。また鈴虫などの鳴く昆虫類や、オナガドリなどの観賞用鶏などを飼育しその愛好グループの中心的存在でした。日本花菖蒲協会にとっては古くからの会員で、長い間理事として協会の運営に務めてくれました。

同氏は明治大学農学部を卒業され、農林省に入省し、主として民間からの種苗登録部門の仕事をしておられ、園芸界でも顔の広い人です。晩年は松戸市で園芸グループを指導され、さくらそうなどいろいろな植物も手がけられていました。鎌倉市の大船フラワーセンターで開催される協会の花菖蒲展示会には遠路当番として参加され、販売苗の株分け作業を黙々としてやつてくださった姿が思い浮かびます。また闘病中の経過について医学用語を使って客観的かつ具体的に説明された手紙のことも思い起こします。同氏の科学者としての側面がうかがわれ感銘しました。本当に長い間ご苦労様でした。天国で花や鳥や昆虫に囲まれ平安であらんことを祈ります。(椎野昌宏記)